

# 入学前課題

## 経済学専攻

経済学専攻に入学すると、次のような勉強を1年時の必修科目でやることとなります。最初の説明文をよく読み、理解した上で、入学まで時間のある人は、問1と問2の両方を、あまり時間のない人は問1だけを解いてください。説明は、1年時の必修科目の始めの方で勉強することです。これは、問1にもあるように公務員試験にも出題される問題を解くための知識となります。

問2は、問題を解くというより、概念をより深く学び、互いのつながりを理解するための問題です。どちらも、経済学専攻に入ってから必要な勉強ですので、これらを勉強するのに必要な高校までの知識(数学や国語)は、入学まで、しっかりと勉強しておいてください。

**入学前課題 以下の文を読み、問いに答えよ。**

**需要曲線が右下がりの理由**

車の購入にいくら支払うか

Aさんは300万円

Bさんは200万円

Cさんは100万円

高い順に並んでもらう

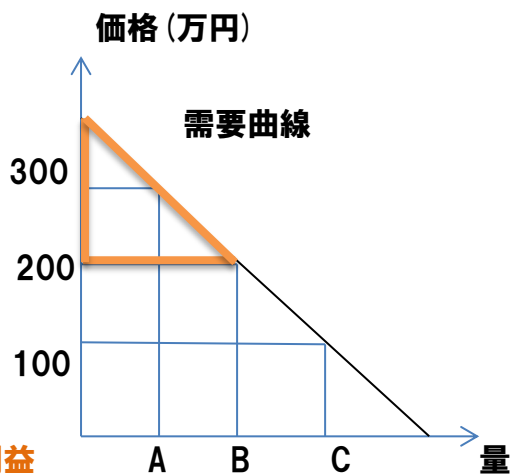
→需要曲線は右下がり

実際の価格が200万円なら、

Aさんは300万円-200万円

=100万円お得

200万円から上の三角形が消費者の利益



**供給曲線が右上がりの理由**

車の生産にいくらかかるか

Dさんは100万円

Eさんは200万円

Fさんは300万円

安い順に並んでもらう

→供給曲線は右上がり

実際の価格が200万円なら、

Dさんは200万円-100万円

=100万円お得

200万円から下の三角形が生産者の利益

消費者の利益と生産者の利益を合わせたものが社会全体の利益

**貿易した方がいい理由**

アメリカが車を輸入しない時、

車の価格は200万円

→200万円から上の三角形が消費者の利益

→200万円から下の三角形が生産者の利益

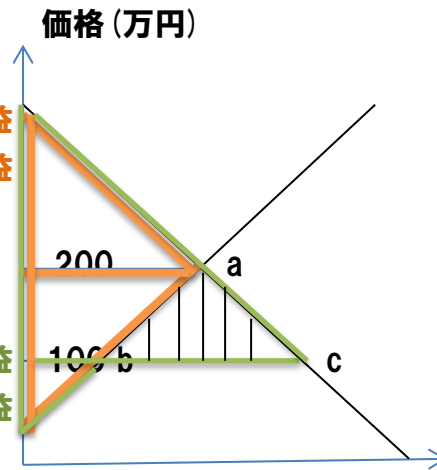
アメリカが車を100万円で輸入した時、

車の価格は100万円

→100万円から上の三角形が消費者の利益

→100万円から下の三角形が生産者の利益

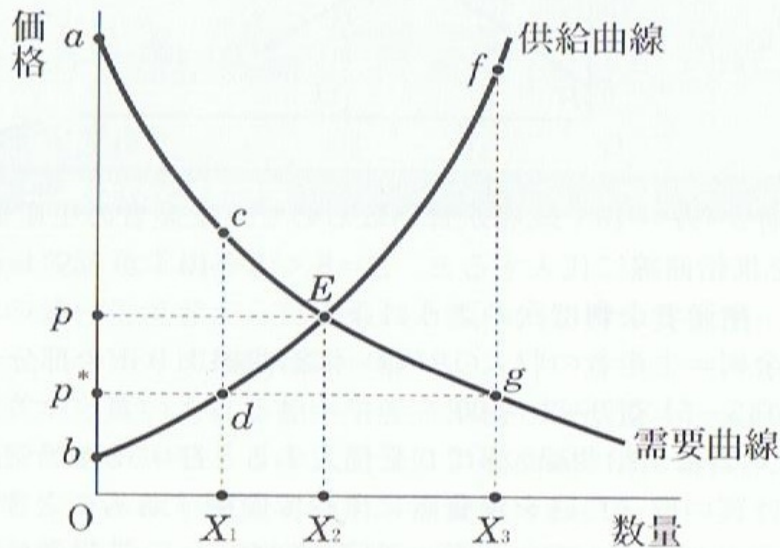
貿易した方が△abcだけお得 (=貿易の利益)



問 1

小国における、ある財の国内市場における需要曲線と供給曲線がそれぞれ図のように示されており、海外との自由貿易がない場合の国内市場における均衡点は $E$ である。また、この財の世界市場における価格は $p^*$ である。この国が自由貿易を行った場合の記述として最も妥当なのはどれか。

【労働基準監督官・平成25年度】



- 1 世界市場の価格にかかわらず、国内市場での均衡点 $E$ において総余剰は $bEa$ で囲まれた部分となり最大であるため、自由貿易を行ったとしても貿易による利益は得られない。
- 2 自由貿易により、世界市場での価格 $p^*$ で取引が行われるので、需要量は $X_3$ 、国内生産量は $X_1$ 、輸入量は $(X_3 - X_1)$ となり、貿易の利益が $dgE$ で囲まれた部分だけ発生する。
- 3 世界市場での価格 $p^*$ が国内価格 $p$ よりも低いため、自由貿易により、消費者余剰は $p^* dca$ で囲まれた部分、生産者余剰は $bdp^*$ で囲まれた部分となるため、貿易の利益が $dEc$ で囲まれた部分だけ発生する。
- 4 世界市場での価格 $p^*$ は国内価格 $p$ よりも低いため、自由貿易により、消費者余剰は $pEa$ で囲まれた部分、生産者余剰は $dgf$ で囲まれた部分となり、自由貿易により総余剰が増える。
- 5 自由貿易によって国内価格 $p$ が成立しなくなるため、消費者にも生産者にも帰属しない死荷重が $Egf$ で囲まれた部分だけ発生する。

**問 2 市場原理、アダムスミスの見えざる手、消費者余剰、生産者余剰、貿易の利益のそれぞれについて、自分で調べて各々について説明し、それらの関連性についても言及せよ。**